

第2回 子育て世代と市長のタウンミーティング 事前質問・回答

No	質問	回答
②子育て支援について		
1	<p>第3子以降の給付金が決定されたが、1人、2人の子ども世帯に対して、不公平ではないか。</p> <p>第3子以上ばかりが重要視されているようで、憤りを感じる。</p> <p>家庭事情などで、産みたくても産めない家庭もある。その家庭への配慮がない。</p> <p>言い方は悪いが、「お金払うから産んでくれ」と言っているようなものではないか。</p> <p>お金ばかりで、子育てがなされるわけではない。</p>	<p>佐渡市では今年度から「子どもが元気なたからじま事業」を開始し、佐渡市に生まれた全ての子どもに出産祝金10万円を支給しています。出産祝金制度を行っている市町村は他にもありますが、1人目から支給している例は少なく、手厚い支援となっています。</p> <p>第3子目以降の支援については、全国的に理想の子ども数を3人以上としながら経済的理由で断念する家庭が多いことから、3子目以降の妊娠出産に踏み切るための後押しをするものです。</p> <p>また、今年度からは不妊治療に係る費用の助成制度を拡充し、不妊治療を行う方が市外の医療機関に通院する場合、交通費の他に宿泊費も助成の対象としました。</p> <p>国の方でも、子ども庁の創設など、子育て支援・教育の無償化等に取り組む方針も出ております。1子目、2子目の支援については、引き続き国に対して事業の拡大等を要望してまいります。</p>
2	<p>○小さな子どもたちが遊べる施設について・土日に室内で遊べる施設をつくってほしい。</p> <p>両津病院跡地にそういう施設建設を考えていただけませんか。</p> <p>(新潟市内の施設を参考に、佐渡で可能な範囲で)</p>	<p>佐和田児童クラブ遊戯室の開放に続き、10月から真野活性化センターいぶき21を子どもの遊び場として開放します。毎週第2・第4日曜日を開放日とし、本日(10日)から開始しています。雨の日でも土の上で遊ぶことができる施設となっていますので、ぜひご利用ください。</p> <p>両津病院の跡地については、今後の解体時期等も含めて活用方法を検討していく予定です。</p>
3	<p>・各地域にある現在の公園の充実は、必要と思われていますか。</p> <p>可能ならば、計画的にすぐにとりかかることができそうですか？</p> <p>(遊具、広場、清潔感のあるトイレ、管理)</p>	<p>公園などの遊び場の充実は、大切なことだと考えています。公園整備においては、老朽化が著しいものから計画的に予算の範囲内で順次、修繕等を進めています。</p> <p>しかしながら、新たな遊具の設置やトイレの整備等については、佐渡には多くの施設があるため、財源の確保等からも難しい現状もあり、ご希望には沿っていないかもしれません。</p> <p>引き続き国へ要望し、国の交付金等を活用しながら、地域の要望、危険性、優先度など総合的に判断し、計画的に安全点検や修繕を行い、順次更新してまいります。</p>
4	<p>・今回、3人目以降の出産に対して、大変手厚い補助金が出ることとなりましたが、金銭的なサポートが必要なのは、1人、2人目でも同じです。世帯収入などを加味していただきサポートをお願いしたいです。</p> <p>・現在、3才以上の子の保育費は0です。3才以下の子(兄弟なし)も同様に保育料無料になるように働きかけてほしい。</p>	<p>佐渡市では市独自の制度として、2子目以降の保育料無償化や、おかずやおやつ等の副食費についても無償としているほか、子どもの医療費の助成、妊産婦や乳児健診の無料化など、子育てにかかる費用の軽減に取り組んでいます。</p> <p>現在、国では子ども庁の創設等をはじめとして、子育て支援の拡充を検討しているところですので、1子目、2子目への支援も拡充できるよう、市として国に働きかけていきます。</p>

③保育・教育について

5	<p>佐渡島は自然環境が素晴らしく、（佐渡市の職員さん含め）人材も豊かな珍しい土地だと思う。先日、島内（歌見）で実施された「こども修行プロジェクト」という有志スタッフ企画の”新しい学び”の経験をした。地域と子どもをつなぐコーディネーター（地域の方、地域おこし協力隊の方、それにリンクする方）がいてこそ、とても素晴らしい内容だった。体験+深慮・考察できる教育は、可能であろうか。もしそうならば、具体的にどのようにイメージされているのかをお聞きしたい。</p>	<p>佐渡には、世界遺産登録を目指す佐渡金銀山遺跡群をはじめ、認定から10周年を迎える世界農業遺産や大地の公園とも言われるジオパークなど、他の地域にはない多様で豊かな文化が受け継がれています。</p> <p>また、近年では島の大自然を生かしたトレッキングやシーカヤック体験なども人気があり、能や鬼太鼓などの地域に根付いた伝統芸能など、子どもたちの学びの糧となる多くの地域資源や魅力があります。</p> <p>これらを活用し、教育機関だけでなく、官民・地域で協力・連携し、子どもたちに体験等を通じて得た気付きや考えを交流させる学びの場を創っていくことが大切でありますし、佐渡を知り、学び、好きになり、佐渡や地域に貢献できる人材に成長してほしいと思います。</p>
6	<p>保育園や学校等、現場の声を拾う方は、いらっしゃるのか。いらっしゃるのであればどうリサーチし、現場に還元しているのかを伺いたい。</p> <p>※私は、教育は未来へのギフトだと思っている。なかなか結果の見えにくい分野だと思うが、佐渡市として、これからも力を注いで欲しいと願っている。このような企画を実施して頂いたことで、自身が考える機会を得られました。市長さん、職員の皆さんに感謝します。ありがとうございます。</p>	<p>保育園では、行事や送迎の時間を利用して、保育士が保護者からお子さんに対する相談や保育に対するご意見等を聞き取り、その内容を指導保育士や担当係に報告し、全ての園に還元することで全体的な保育環境や業務の改善に繋がっています。</p> <p>また、学校においても、教員が子どもたちや保護者の声を聞き、学校内での会議や学校運営協議会などの状況を踏まえ、校長会等に市教育委員会が参加して意見や要望などの現場の声を施策に活かし、還元できるように努めています。</p>